

5月末の人口	
世帯数	568世帯
男	742人
女	739人
計	1,481人
(馬路 1,059人)	
(魚梁瀬 422人)	



昭和63年6月30日発行
第一二八号
発行集
馬路村教育委員会
印刷 安芸印刷



馬路から車で二、三十分も山道を走ると、にわかに目の前が開けてくる。
雄大な魚梁瀬ダムである。
ダムのかなたに
魚梁瀬の集落が点在する
湖水を吹き上げてくる、ひんやりした風は、
旅人の汗を心地よく消していくを
異国にたたずむような錯覚に陥
るであろう。
まわりの木々の緑を溶かして、
青味を帯びた水面。
山々のりょうせん。赤い橋、
せみしぐれの中の湖畔の宿。
やがて、祭のにぎわいが聞こえ
だす頃、ダムのほとりには、た
かさご百合の花が咲き乱れる。
におやかに、優しく



魚
梁
瀬
ダ
ム

今月のスポット

《 5 月 》

- 2日 春の運動会（魚梁瀬、馬路小、保）
 6日 村内校長会
 7日 馬路婦人会研修旅行
 8日 魚梁瀬婦人学級
 11日 魚梁瀬 P T A 総会
 12日 村内教育交流会
 13日 行政相談
 14日 森林鉄道を語る会
 19日 金林寺句碑除幕式
 交通安全教室（魚梁瀬小）
 23日 金林寺花祭り
 村内、校長、教頭会
 23～24日 職域卓球大会
 24日 交通安全教室（馬路小）
 28日 馬路 P T A 総会
 28～29日 役場職員研修旅行（1班）
 29日 馬路高齢者教室

《 6 月 》

- 4～5日 役場職員研修旅行（2班）
 4日 リハビリ教室
 9日 民生委員定例会
 10日 人権相談
 10～11日 魚梁瀬中研修（大川中）
 12日 村内いっせい清掃
 15～17日 部落対抗バレーボール大会
 19日 馬路高齢者教室
 21日 青少年育成会議総会
 24日 食生活改善推進会議
 28日 校区ちり拾い（馬路小）

フォト・フォーカス



↑ 5月7日馬路婦人会研修旅行



↑ 5月12日村内教育交流会



↑ 5月26日馬小、2、3年生田植え



↑ 6月15～17日部落対抗バレーボール大会



↑ 6月19日高齢者教室

村内あちらこちら



(森林組合工芸品の数々)

走り出した村おこし

次々と販売ルートを見い出す

「ゆずの村」ほん酢しょうゆ日本一の栄誉に

馬路村は、昭和五十九年度に「地域小規模事業活性化推進事業」の指定をうけ、商工会を中心とした村おこし事業実行委員会を組織してきました。会は村内各方面へ、根をのばし、ふるさと事業、あるいは、県が一昨年出した『国民休暇県・高知』の全国にむけての宣言の波にのって、着実に成果をあげてきました。そのたゆまない努力と、体当たりの行動は、すでに周知のごとく。

農協の『ほん酢しょうゆ・ゆずの村』が、一〇一村展において、輝やかしい日本一の栄誉を得、ゆずジュースも、みごと一位となつたのです。それは、ひとえに、関係者諸氏の、たゆまない努力と英知のたまものであつましよう。

その結果大手百貨店の販売ルートにのり、日本各地へ、販売網を、広げてゆくこととなりました。そして又一方、森林組合工芸センターの木工製品も、三月十日から二十三日まで、東京有楽町の阪急で『木工芸展』を開き、馬路の名を各方面へ広め、又、都会派の田舎思考、ふるさと願望の心をつかんで、着々と足をのばしつつあります。それら六日間、東京三越で木工製品

は、村内各方面へ、根をのばし、ふるさと事業、あるいは、県が一昨年出した『国民休暇県・高知』の全国にむけての宣言の波にのって、着実に成果をあげてきました。そのたゆまない努力と、体当たりの行動は、すでに周知のごとく。

第四回、日本の一〇一村展(西武百貨店池袋店主催)が、四月二十九日から五月四日まで、全国六十三の市町村の参加により、東京池袋で開かれた。

馬路村も三回目の参加であり、村のゆず製品、木工芸品、馬路寿司の実演販売で、都会の人々に活動をしている市町村に参加をよびかけ、観光宣伝、物産の販売、都会生活者と村の人々の交流など、都会では、今までにない催事として、高い人気があり、市町村の参加希望も多いが、四国からは今年、馬路村と土勝

町の二町村の参加であった。今年も一〇一村展開催の中で、大手メーカーとの交流会や、昨年から始まった地域産品コンテスト、村おこしのシンポジウムなど、盛りだくさんの行事が、別会場で開かれ、馬路村農協の『ゆずの村』ポン酢しょうゆが一〇一村展賞に輝いた。

この产品コンテストは、都会地盤を固めてゆくことが必要となる。それにやはり、心を引き締め、村民一体となって、地元の地盤を固めてゆくことが必要となる。

一村展 あれこれ

東谷 望史

この产品コンテストは、都会地盤を固めてゆくことが必要となる。それにやはり、心を引き締め、村民一体となって、地元の地盤を固めてゆくことが必要となる。

市町村の代表が、一人三分以内で、产品的説明等を行ない、さらに試食や対面で説明を要した。発表は、夜七時半から一〇一村展参加者のパーティ会場で行われ、各部門賞発表のあと、大賞が発表され、賞状と副賞一〇一万円が馬路村に送られた。

販売にたづさわった多くの人達も涙を流しながら喜んでくれ、又馬路村の参加者も、他の市町村から祝福を受け、最後までにぎわつた。

審査の基準を後で聞くと、今年は得点だけでなしに村の努力や、他の商品も含めて総合評価も加算とのことです。「馬路村は毎日帰りが遅いね」との西武職員の声が耳に残る。



第四回(63年)日本の101村展馬路村产品コンテスト優勝



(馬路村農協の『ゆずの村』)

果たして夢は成るか？

幻の森林林鉄道

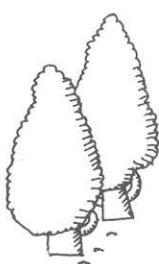
「森林鉄道を走らせる会」が発足

「ボー」と汽笛を鳴らし、真っ黒い煙を吐き出して蒸気機関車が山あいの鉄路を走る。その力強さに沿線住民たちは目を見張った。大正十年二月のことである。魚梁瀬森林鉄道に県内で初めての蒸気機関車が走った。

明治四十四年、犬や牛を使った軌道が開通して以来、「命は保障しない」と物騒な条件つきだが、沿線住民は便乗できた。花嫁さんも「林鉄」に乗ったし、郵便配達のおんちゃんも利用した。

生活に密着し、奥地に文化を運び込んだ「林鉄」も、魚梁瀬ダム建設に伴い、昭和三十八年、半世紀にわたる歴史を閉じた。

(森林鉄道物語から抜粋)



森林鉄道を語る会発足

新緑の木立ちの中を、あるいは、厳しい寒さの中を走り続けた森林鉄道は、喜びと悲しみの歴史を刻んで幕を閉じたのです。それから二十五年、昔を忍んで「林鉄」を語ろうではないかという「語る会」が馬路で開かれました。

五月十四・十五日のことです。

五月十四・十五日のことです。鉄道に従事した高知の方から、話が持ち上がり、西野村長を会長とする村おこし事業実行委員会が献立たたものでした。参加者は、元高知営林局員や機関車製作員、県外からの鉄道ファンに元林鉄従業員等と、その数は百人近くものとなりました。十四日の会は、元高知営林局森林鉄道技師の寺田正さんのスライドによる『森林鉄道の思い出』や、元野村組工作所勤務で蒸気機関車製作に携わった方の『機関車製作にかかるよもやまばなし』等で会場に熱気をさそいました。

その後の懇親会で、元OB達



の熱い思いは、さらに盛り上がることとなり「語る会」は「森林鉄道を走らせる会」へと発展。大きな拍手の渦の中で、寺田正さんを代表に選出しました。

翌十五日は、魚梁瀬森林鉄道の記録フィルムを上映し、ダムとともに、埋没した林鉄を忍び、「ぜひ、もう一度あの林鉄の復活を」の思いを強にしたのです。その後、小雨のそば降る中、からうじて現存している東川のトンネル跡を見学し閉会となりました。



商工会・

清岡博基さん

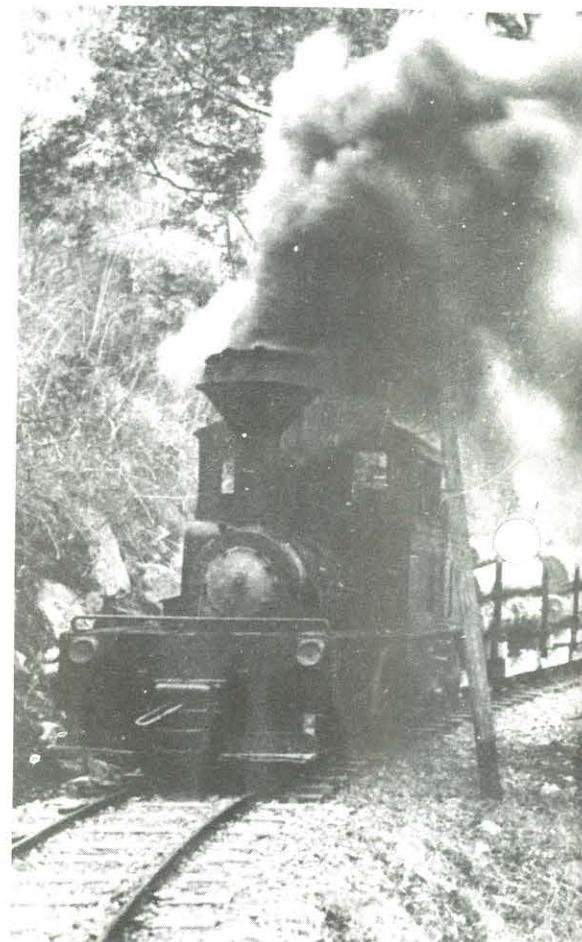
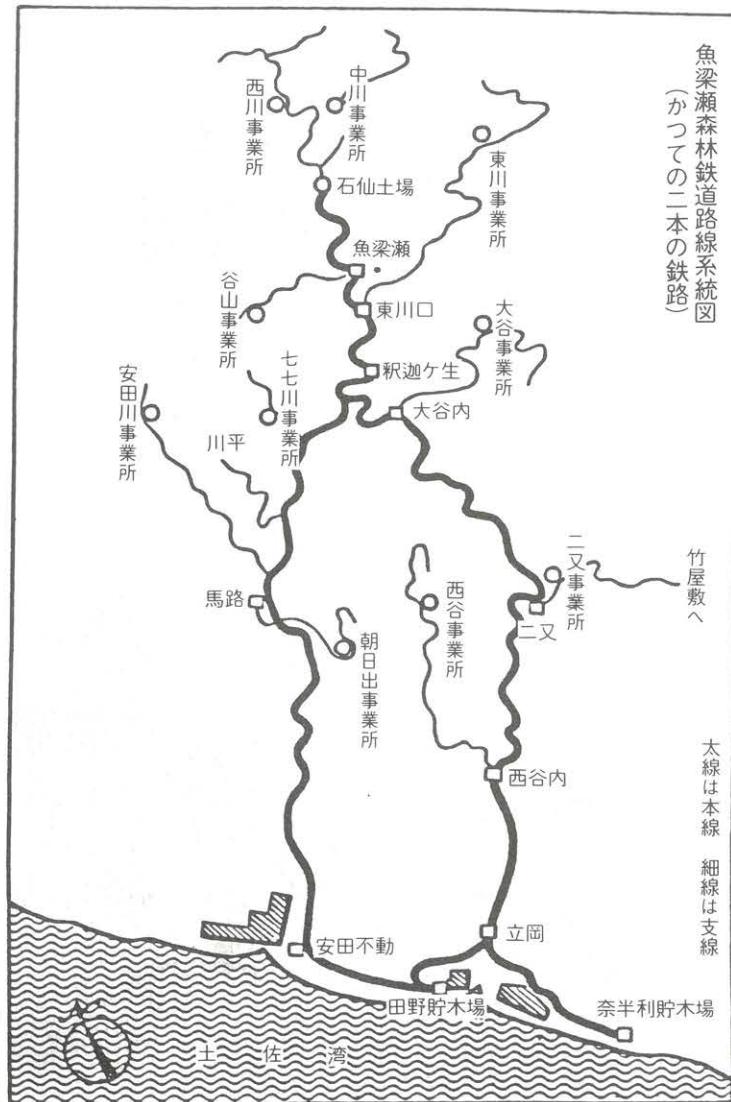
魚梁瀬森林鉄道は、全国でも有数の規模の森林鉄道として、馬路村の山の富である天然木を運び出してきた。そして村に来る人も、出てゆく人もすべてこの森林鉄道を利用し、地域にとってなくてはならない唯一の足であった。

この森林鉄道が廃止になって、四半世紀を迎える、先般、森林鉄道を語る会を開催したところ、参加者から森林鉄道復活についての、御提案をいろいろといただきこのまま廃れさせさすには惜しい観光資源だという思いを強くした。

最近の若い観光客は、田舎にロマンを求めてやってくるといわれている。『緑の自然のただ中を、宮沢賢治の銀河鉄道に通じるロマンをひめた森林鉄道に乗り、柚かおる温泉の里にやって来て、千本の天然林で森林浴を満喫し、気が向ければ、一輪ざしなどの木工品づくりを楽しむ。そして、ひのき風呂の温泉につかり、柚や山菜それに川魚を生かした郷土料理に舌鼓をうつ』。

馬路村から田野町までを結んでいた魚梁瀬森林鉄道を再現させることができるとすれば、馬路村の観光の夢は大きく広がってくる。

是非、この夢の実現のため『走らす会』を結成し機関車の復元など、できることから取り組みたいものですね。



真っ黒な煙を噴き上げ、力強く走った

復活は可能か

『森林鉄道を走らせる会』のメンバーにとどまらず、村内外の林鉄に対する思いは熱い。唯一の交通機関として村民の足となり手となって、生活・文化を支え、豊かな森林資源を運び続けた林鉄。時の流れに逆らえず一度は深い眠りについたものの、今又呼び起こされようとしている

。観光資源として、村おこしの目玉として、再び大きな夢を積んで走ることがあるのだろうか。課題が大きければ、大きいだけ、多ければ多いだけ、挑戦価値は大である。温泉のまわりを魚梁瀬の湖水のほとりを、あの林鉄が走るとなったら、誰しも詩情をかきたてられる。幻の森林鉄道で終わることなく、一キロでも二キロでも走って欲しいと、願う村民は多かるう。『走らせる会』の行く末を見守つてゆきたい。

ボランティアで

潤いと活力を

花づくりボランティアを追って

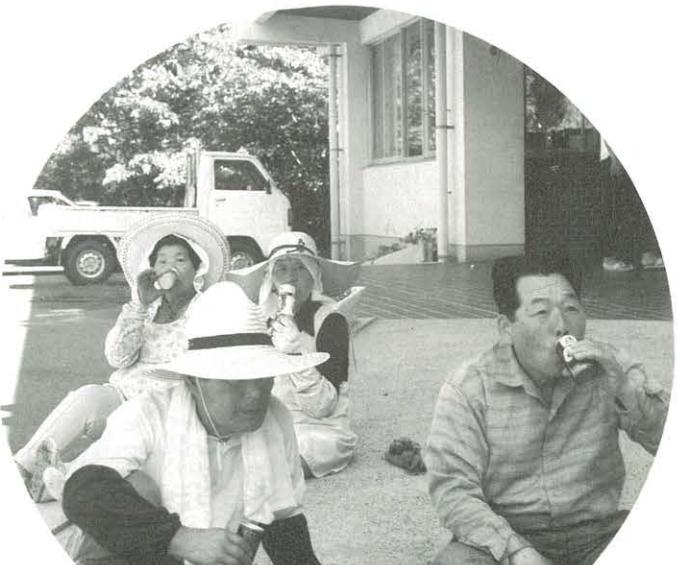
皆さん、ボランティア活動に対して、どんなイメージを抱いていますか？

面倒くさいこと、あるいは負担の大きいこと、など考えはないでしようか。しかし、わたしたちのまわりを見渡してみると、ほんの少しの時間と労力を費いやさだけで、ずいぶん社会が住みやすくなるなということが、結構あるはずです。また、ふだんの仕事や生活とは違った活動に取り組むことが、新たな発見を生み、結果として自らの生きがいにつながったということも少なくありません。

夏休みは、家族や近所の人々といっしょに、ボランティア活動を始めるよい機会かもしません。
村内のボランティア活動の一部を拾つてみました。



「花づくりボランティア」の人たちの活動です。
「わたしも参加を…」と思われる方は、教育委員会（4-2216）又は商工会（4-2108）までお問い合わせ下さい。





馬路村の歴史と伝説

魚梁瀬熊野神社②



〈二三〉

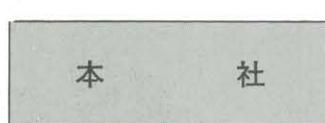
馬路公民館長山中 嶽

例大祭の古式

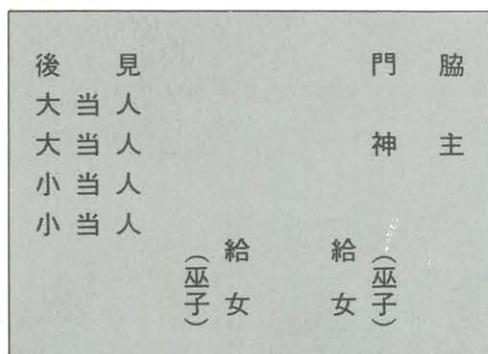
魚梁瀬熊野神社（大領權現）の例大祭の古式はどのようにおこなわれていたのでしょうか。今回はこのことを記してみたいと思います。

例大祭は、旧暦九月十五日におこなわれ、神主（門脇一族から選ばれる）、後見一人、大人二人、小当人二人、使者二人、

巫子二人（未婚の娘、炊事、給仕も勤める）かしき一人（男性）、これらの人々のほかに門脇家の当主が参列します。九月十一日から五日間は、神社に入れば社外へ出ることは許されませんでした。これを「宮ごもり」と言います。早朝午前五時に起床し、神社の下の清流に入つて斎戒沐浴します。心身を清めた後、宮に帰つて、衣服を更衣し、後見の指示に従つて所定の座につきます。図①



図②



本社

図①

小巫
大巫
大巫
小巫
当人
当人
当人
見人
見人
見人
見人
見人
見人

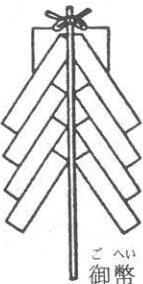


拝殿

九月十三日は、卯の刻（午前六時）に清流で沐浴し、男性は袴、女性は正装して座につきます。

前日に建てたオハケ竹に十二ヒロ（閏年は十三ヒロ）の七五三注連縄をはり、その前の神棚に造酒を添竹の中にもり、十二ヘギ（閏年十三ヘギ）の洗米を供えて、門脇殿を迎えて祭典をおこないます。

オハケ竹は、最長最大の竹の上部に、藁を束ねてくり、御幣六本（閏年は御幣七本）御羽六本をさし立て、この御羽幣に神々を招いて祭るものであります。



（閏年……うるう年のこと）
（御幣……神祭用具の一つで、細く切った紙をくしにはさんだもの）

次号へつづく

注

御崎祭

4月の異動で田野より馬路に赴任になりました。出身が魚梁瀬で頗見知りの人が多く心強いような少し恥かしいような感じです。頑張って行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

2ヶ月余りすぎて、自分の生れ育った村の健康について知らない、知らなかった事が多いのに気づかされています。

広報健康相談等を通じ少しづつ住民のみなさんと共に「馬路村の健康」について考えてゆきたいと思っております。

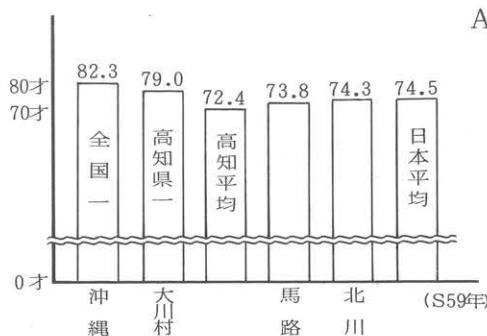
今回は、全国市町村健康マップおよび今までの保健婦の資料から『馬路村民の死亡原因の一部』を探ってみました。



西山真理保健婦

Q 馬路村は長寿村だろうか？

平均寿命（男） S60年マップより



A：高知県の平均寿命

よりは上回っていますが、沖縄と比べると、8才余りも短命となっております。

Q 何が一番の死因となっているか？

A：全国では1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管障害

ですが、馬路は58年からずっと第1位は心疾患となっております。（欧米なみ？）

あなたの心臓は守られていますか

心疾患による死亡率 県下でトップ

成人病を防ぐ日常生活の心がけ 防ぐもかかるも今の生活しだい

◎成人病になりやすいタイプ10

- ①食生活のかたよっている人
- ②塩辛いものが好きな人
- ③太っている人、太ってきた人
- ④からだを使わない人・運動不足の人
- ⑤「働き中毒」の人・休養不足の人
- ⑥楽しみの少ない人・愉快に遊べない人
- ⑦症状を軽視する人・年のせいにする人
- ⑧誤った信念を持っている人

自分の体は自分が一番よく知っていると考えるのはまちがいのもとになります。

- ⑨遺伝傾向のある人
- ⑩健康診断をおろそかにする人

馬路村は、月曜日を「ノーマンデー（飲まない日＝休肝日）」と宣言しました。飲む機会が何かと多い馬路村においては、お酒の飲みすぎで身体の不調を訴えたり、肝臓をこわしたりする人が多く、せめて月曜日を飲まない日にしてしまうという宣言がおこなわれました。健康を守るためにも、週に一、二日は休肝日をもうけましょう。そして、楽しいお酒を本当においしいながら、適量飲むようにしましょう。

休肝日宣言!!

Q そんなに心疾患で亡くなる人が多いのだろうか？

A：他の市町村と比べてみると。(S 56～60年標準化死亡比より)

	男	女
全 国	100	100
高 知 県	102.8	99.7
北 川 村	59.8	69.2
馬 路 村	156.9	192.4

(ワースト I) (ワースト I)

県下で心疾患で亡くなる人がもっとも多い村。全国の1.5～1.9倍、お隣の北川村と比べると2.6～2.7倍となっています。

Q 年令的なものだろうか？

	40才	50才	60才	70才	80才	90才	計
56年			1	1	1	1	4
57年				3			3
58年	1	1		4			6
59年				3	1		4
60年				2	3		5
61年			1	2		1	4
62年	1		1	1	2		5
	2	1	3	16	7	2	31

A：若い年代でも亡くなっています。せめて平均寿命までの死亡（40才～60才代の死亡）を防ぐ事ができないだろうか。



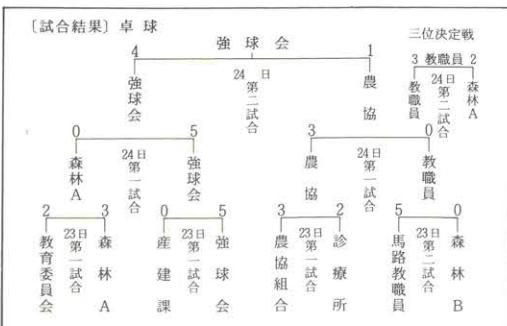
Q 早期発見、早期治療のための健診（循環器）が受けられているだろうか？

受 診 率

	60	61	62年
全 国	25.5%	27.6%	
高 知 県	28.7%	29.4%	
北 川 村	46.8%	57.5%	
馬 路 村	58.7%	49.5%	45.2%

A：受診率は全国、県に比べても非常に高い率であり多くの方が健診を受けられています。ただ気になるのは、年々受診率が下がって来ているということです。

次回へつづく



強し!! 強球会 堂々の優勝

23日~24日



六十三年度職域卓球大会は、参加八チームにより、楽しいなかにも各試合共、熱戦が繰りひろげられました。

一セット二十一点、トーナメント方式で行った本大会では、とまどつたり、体力の限界に挑戦された方もあったようです。

優勝した強球会は、各試合とも各自がもてる力を十二分に発揮し、実力どおりの完勝。準優勝の農協チームは、一回戦で今回優勝の診療所チームを破り、勢いにのつて決勝戦に進出。第三位の馬路教職員チームは、日頃のひそかな練習の成果があらわれ、前評判をくつがえす堂々の入賞となりました。

敗れはしましたが、仕事の多忙なおり二チーム参加してくれた森林チーム。女性をトレード(教委から)してまで参加した産建課チーム。優勝候補であった診療所チームは、一回戦まさかの敗退。そして新ルール『また』を適用して、全員(七名)で戦つても敗れた教育委員会チーム。

各チームとも、持てる力を十分発揮すると共に、職場間の友好と親ぼくが深められた大会となりました。

強球会メンバー
　　甫木大助・甫木修次郎
　　西山栄二・田中正義
　　岩城美由姫・牛窓正子

男子影A・女子影 優勝

一方、男子の部では、一回戦(影Aチーム)対相名Bチームは、事実上の優勝戦。バレー・ボール部員を要所に配置し、必勝で臨んだ影Aチームが、前回の雪辱に燃える相名Bチームを二対〇で取り、決勝戦へ進出。

影Bチーム対相名Aチームは、大接戦。一点ごとに大歎声。一セット目を取られた影Bチームが、若手の奮起で後の二セットを競り勝ち、追いすがる相名Aチームを、破り逆転勝ち。

三位決定戦は、相名Aと相名B。一セット目、和氣あいあいと試合を楽しんでいたが、二セ

ン対日浦・朝日出チーム。前回七年連続優勝を阻止され、今回こそはと意気あがる影チームが、二対〇で若がえりを計った、日浦・朝日出チームを取り優勝。

女子の部、一回戦影チーム対相名チームは、攻守に勝る影チームが、執拗に食い下がる相名チームを破り、二対〇の快勝。

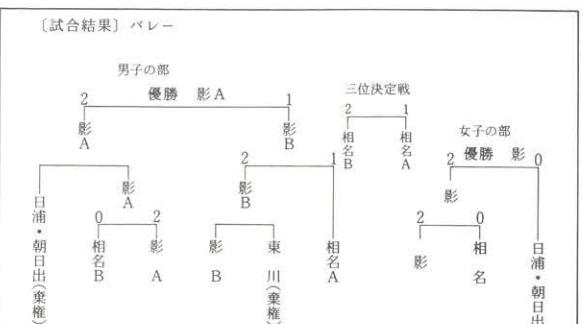
決勝戦は、前回と同じ影チーム対日浦・朝日出チーム。前回七年連続優勝を阻止され、今回こそはと意気あがる影チームが、二対〇で若がえりを計った、日浦・朝日出チームを取り優勝。

一方、男子の部では、一回戦(影Aチーム)対相名Bチームは、各チーム、代表者、審判員の方々の御協力により、大会はスムーズに終了いたしました。



一方、男子の部では、一回戦(影Aチーム)対相名Bチームは、各チーム、代表者、審判員の方々の御協力により、大会はスムーズに終了いたしました。

一方、男子の部では、一回戦(影Aチーム)対相名Bチームは、各チーム、代表者、審判員の方々の御協力により、大会はスムーズに終了いたしました。



子育てが不得意になつた親たち

通常、子育てと呼ばれる親の嘗みは、子どもを保護しながら育てる、教え導きながら育てる、意図的、無意図的に感化や影響を与えるながら育てることだと考えられています。

それではこのような子育ての嘗みは、望ましい形ですすめられているのでしょうか。どうもそうではないようです。理由はいろいろあるのでしょうか、離婚する夫婦が年々増えるなど家庭崩壊により、子どもが犠牲になつている場合も少なくありません。そして多くの親、特に若い親たちは子育てがうまくできていません。

嘗みは、少ないために、子どもが大きな期待を寄せ、子どもを保護しすぎたり、失敗させないよう干涉したり、子どもの言いなりになつて放任してしまったりする親が増えてきましたといわれます。

そして、教え導びくという嘗みについても、学校の教科の成績を高めることに一生懸命で、幼稚園に入る前から知識のつめ込みに夢中になる親が多く、自ら子ども受験競争をあおるような行動をとっています。

また、人間としての、そして

(資料三つ子の魂百まで)

社会人としての必要なきまりなどを身につけさせる教育・指導が、大変に欠けているのではないか。
また、お金や物の豊かさのみを追いかける生き方や享樂的な生き方に明け暮れる親も少なくありません。つまり、子育ての営みが得意な親が多くなつてきましたと言えそうです。

感化、影響という嘗みについては、職場と住居が遠くなるなど生活構造が大きく変化したため、後姿で導びくというような働きかけが困難になり、子どもと友だちのように仲良くすることだけを心がける親ばかりが目につくようになりました。人生の先輩として、生き方を示すというような親の行動が、極端に少なくなつてきているように思っています。

税金いろいろ

御相談は

安芸税務署

TEL 08873(5)3115

我が国は、申告納税制度を採用していますが、税知識を深め、税負担の公平確保に努めるために、納税者の方の正しい理解が必要です。今回は『退職金と税』についてふれてみました。

退職金と税

退職金には所得税と住民税がかかり、通常、退職金の支給を受ける時にそれぞれの税金が、源泉徴収されます。この退職金は、長い間の勤労の対価であり、また退職後の生活のために大切なものですから、これらを考慮して、所得税や住民税は他の所得と分離して課税されるなど、他の所得より軽い負担で済むるうに配慮されています。

(1)退職所得及び税額の計算

退職金の額から退職所得控除額を差し引いた残額の二分の一が、退職所得の金額です。この退職所得に、所得税(住民税)の税率を掛けたものが所得税額(住民税額)となります。

なお、退職金の額が、退職所得控除額以下であれば、税金はかかりません。

(2)退職所得控除額

退職所得控除額は、退職した方の勤続年数に応じて次のようになります。

①勤続年数が20年以下のとき

$25\text{万円} \times \text{勤続年数}$

(ただし、この額が50万円未満のときは50万円となります。)

②勤続年数が20年を超えるとき

$50\text{万円} + 50\text{万円} \times (\text{勤続年数} - 20\text{年})$

なお、在職期間中にけがなどによって障害者となり、それが直接の原因で退職したときは、①又は②の額に100万円を加算した額が退職所得控除額となります。

7月は「青少年を非行から守る全国強調月間」です

希望ある青少年を守るために、学校、家庭地域ぐるみで実践しよう。

- ◎青少年の万引をなくしましょう
- ◎未成年者の喫煙飲酒禁止を徹底しよう
- ◎家出などから発展する不純異性交遊などの性非行をなくしましょう

◎死にいたるシンナー等薬物乱用の弊害から青少年を守ろう

◎青少年の暴走行為をなくしよう
子供についての悩み相談は

TEL ⑧-3953

(中芸行政組合少年育成センター)

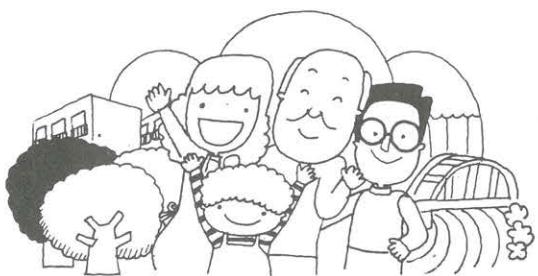
⑧-4854

(奈半利幹部派出所少年係)



つくるページ

のひわば



五月十九日、金林寺境内において、馬路俳句会による句碑の除幕式がおこなわれました。

馬路俳句会では昨年一月頃から、形あるものを残してはの声があがって、他町村の句碑などを見学して研究をすすめました。

このたび、安芸市の谷口石材店にお願いして、金林寺境内に建立し完成したものです。

石材は青木石で、会員それぞれ一句、計十句を刻印してあります。

当日は、五月晴れのよい天気恵まれ、村長さん、教育委員会の方々、池先生のご臨席を得て厳謹な除幕式となりました。

室町時代の遺風を持つ薬師堂は新緑に照り映え、松蟬も除幕式をお祝いするかのように鳴いていました。

除幕式が終って簡素なお祝いの宴があり、そのあとで句会が開かれました。

献詠の句は次のとおりです。

橋本百合子
いつの世の庭の石臼雪溜る

句碑除幕式

馬路俳句会



尾谷清子
鈴なりのままの熟柿の下に立つ
山中巖
月の出の秘仏の鍵に手をかける
国見喜美栄

尾谷清子
節分や尼さま歌いかつ踊り
清岡雅子
いつも見る池に伝説椎の花
池禎章
邂逅の四五分が過ぎかたつむり

尾谷清子
竹藪を歩きまわりて竹の秋
仏さま今日も又雨花が散る
伊吹千鶴子
心経に暮れゆく山河十二月
井上一美
初蝶を見し一瞬を振り返る
伊吹千鶴子
子を案ず母は九十天瓜粉
岩城うた子
越智善心

秋の蝶見賞れた景を舞いそぐ
越智善心
心経に暮れゆく山河十二月
井上一美
初蝶を見し一瞬を振り返る
伊吹千鶴子
子を案ず母は九十天瓜粉
岩城うた子
越智善心



もう一度瞬き見せよ雨蛙
竹を透く春の没日に身を濡らし
若き日の陛下のお手植松の芯
藤の花眺め帰りを急ぐ旅
孫子らと別れ空春深し
我が家より蝶とびたちて明易し
アネモネの紅に似し口新社員
花冷えに弁当広げ畠の中
伊吹千鶴子
竹藪を歩きまわりて竹の秋
仏さま今日も又雨花が散る
伊吹千鶴子
心経に暮れゆく山河十二月
井上一美
初蝶を見し一瞬を振り返る
伊吹千鶴子
子を案ず母は九十天瓜粉
岩城うた子
越智善心

馬路・魚梁瀬
俳句会



みんなで

村民

さあ忙しい！二十八、二十九日の食事は何にしようかと思いつい、二十七日は二日間の食事の準備、自分のしたくと十一時過ぎにやすむ。

二十八日、五時起床。洗濯、朝食、明日の学芸高校合同慰靈式出席の主人の式服の用意。八時にやつとまにあう。大橋付近で誰かが「困った御飯のスイッチを入れてこなかつた、どうしよう」と大きわぎ。とにかく主婦の旅は、いそがしい。車窓よりの新緑の美しさ、大豊付近では、「ずいぶん高い所に家がある。買物は？学校は？」はては「こんな所だつたらお嫁に来ない」等と勝手なことを言いながら坂出へと。

人々の知恵と科学の力の結集、

瀬戸大橋は大きく美しい。記念写真を撮り、博覧会場へと。最初のパビリオンは全員で見学、そのうちに、それぞれ別行動となり私達は二人で回つた。大橋記念館のヘリビジョンシアターは、低学年が行くと喜びそうな所。郵政館においては、貯金箱コンクールの作品が展示してあ

り、井上評太君、新玉智也君の出品作品もあり、思わず連れになりました。時間がなく全パビリオンを回ることができなかつたことが残念。夕食後、坂出の町へ出かけた。

八時前なのに商店街は、閉店していた。パチンコ店に入る。初めてでわからず。お金を入れても玉は出てこない。隣の人聞くと「ここから」という。両手ですけても出てこない。隣の人

が手でもち上げると、ジャラジャラと出てきた。たいていおかしかつたことだろう。夜は話しがつかれて十二時前就寝。

二十九日、十九年ぶりに会う友のことを思い、ワクワクして寝られず、午前四時に目が覚める。八時出発、与島でわんさと買物をする。バスの後部座席はみなのが買物袋の山。その後、波静かな瀬戸内海、斜張橋の美しいみどり倉敷へ。大原美術館本館には、ルノアール、ピカソ、モネ、ムンク、コロー、ゴーギヤン等、昔、美術の時間に勉強した画家達の絵が展示されていました。ロダンの彫刻、これは見落してしまいそうな程、小さかつた。東洋館、工芸館へと足早に進み十時三十分約束の時間にな

る。独身時代二つ後輩の彼女と会う。二人共いくつともになつてはいるが、すぐにわかつた。

二十数年ぶりに、御主人ともが彼女の家にも行つた。話題は、子どものこと、学芸高校の事故のこと、昔の同僚のこと等。彼女の家を後にし、再び美観地区へ。アイビースクエアは、昔の

紡績工場跡。赤レンガについたかずらがはいあがり美しい。秋の紅葉は一段と美しかろうと思われる。柳の緑、堀割りにかかる

土蔵の町並。新吉のコントラストが、ひときわ鮮やかに目に写つた。もう一度ゆっくり訪ねてみたい所でした。家族に感謝し、二日の旅を終えました。



よつちやあう飼いの見世物、火振り漁とくる。むごいことよのどねらわれることはない。せいぜい『ガマの油売り』の看板よ。まつこと鮎に生れたばかりに氣の毒よう。何？ わし？ まあ、そうかたいことは言うな、どの世界でも本音と建て前は違うちよろうが。

初日におこぼれを、少々：

いやいや、まあその、あれは実は美味じや。安田川の鮎は天下一品よのう。ウーン、しかしやよ、根こそぎとつたらいかんとわしは思うちよる。十年先、五十年先、この川にやっぱり鮎がはねちよらないかん。人間もそれをを考えちよかなあいかんぜよ。川を汚すな、毒を流すな、規則は守れ！いやことを言ひにわし、これからも、ちよくちょく顔を出すきのう。

たまるか、わしやあおつたまげた。何ちかんちあの人々人。よしの根元でうたた寝をしよう。わたしも、さすがにちびつた。道路ぶちは車の山。他でもない鮎の解禁日よ。テントを張つて夜明けを待つ奴やら、仕事を休んで暗いうちから来る奴やら、川は狂乱状態よ。たまるかの鮎の影刻、これは見落してしまいそうな程、小さかつた。東洋館、工芸館へと足早に進み十時三十分約束の時間にな

い。川は狂乱状態よ。たまるかの鮎の影刻、これは見落してしまいそうな程、小さかつた。東洋館、工芸館へと足早に進み十時三十分約束の時間にな

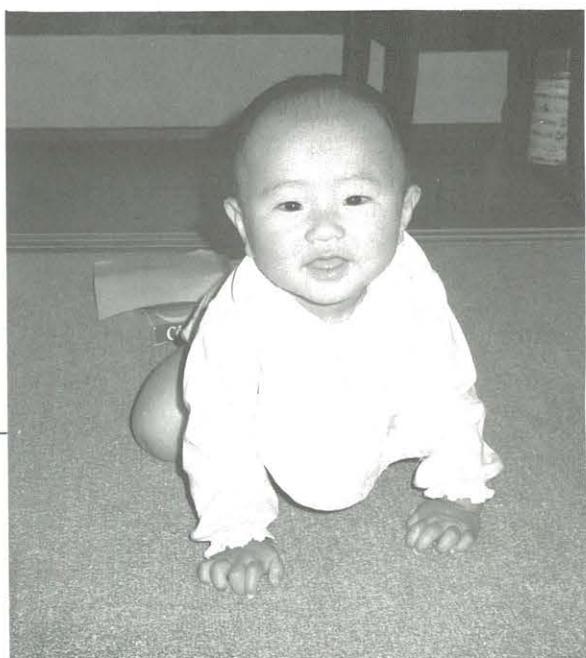
赤ちゃん万歳!!

(何ものにもまさる一家の宝物 お誕生前の赤ちゃんにスポットライト)

馬路村では、昨年十五名の新しい生命が誕生しております。

魚梁瀬小では今年度、たつた一名の入学となりましたが、馬路においては、久々に念願の二歳児となりました。このコニーでは、馬路の未来をなう子ども達に、明るい明日があることを願い、お誕生前の赤ちゃんを紹介してゆきたいと思い

ます。少しの違いで載せられないかった赤ちゃん、ごめんなさい。



市川浩司さん

壽美さん

の次男です。
こんなに大きくなりました
おつとりした二才のお兄ちゃん
どちがって、元気でたくましい賢君です。みんなよろしくね。

の長男です。かわいいでしょう。

一家のアイドルです。上二人は女の子
待望の男の子で目に入れても痛くない
仁君ですが、女の子の違つて男の子は
たいへんですねとは、ママ。

昭和62年8月28日生(日浦)

井上博俊さん
典子さん

昭和62年6月19日生
(魚梁瀬)

ごめい福をお祈りします

岩城	氏名
保	性別
男	年令
74	
63・5・5	死亡年月日
保	世帯主
本人	続柄
東川	部落

誰にでも親しまれる広報。もう一度手にとってみたい広報を目標に、この二か月の村内でのこと等を編集してみました。もう少し紙面があれば、あの写真この記事、スポーツ面はもっと大きくあつかうべきだったと悔まれることばかりです。資料等をお寄せいただいた方々に、深く感謝申し上げますと共に、広報発行日には、期日を過ぎてしまふものもあり、全部のせられなかつたことを、おわびいたします。次回は九月発行の予定です。御意見、御要望は教育委員会まで。TEL④-12216